

「初歩のロープワーク活用法」講習会開催報告 ～神奈川県立山岳スポーツセンターにて～

毎回好評の「初歩のロープワーク活用法」を4月16日(日)、神奈川県立山岳スポーツセンターにて開催しました。悪場の通過や突然のビバークなど、登山のために身に付けておきたいロープワークを学びました。基本的なロープの結び方など基礎知識からその利用方法、さらにツェルトの設置などへの応用まで野外フィールドでの実践を交えて体験しました。皆さんの学ぶ姿勢はとて熱心で、それに応えるべくいつも以上に気持ちの入った講習会となりました。

ロープワークはとて奥が深く、ハイキングや縦走からクライミング等に至るまでその用途や使用する道具も様々です。今回は、ハイキングや縦走中にちょっとした悪場をより安全に通過したり、不安がって腰が引けている同行者に安心感を与えるなど、どちらかと云うと補助的な目的での利用方法を学んでいただきました。使用したロープもクライミング用とは異なりますので、過度な荷重が掛からない使い方を想定しています。たまたロープやカラビナ・スリングがあると無敵になった、と勘違いする方もいらっしゃいますが大きな間違いです。山道具にはそれぞれ長所や短所があります。その特徴をしっかり理解したうえで使用しないと取り返しのつかない事になりかねません。結びのうろ覚えも危険です。ロープなどの道具を持っていても、その使用方法や結びが曖昧な時は【使わない勇気】も必要ですよ！

遭難対策委員会 横 昭善



「春の安全登山キャンペーン」実施報告

4月22日(土)、新緑の川苔山登山口で、青梅警察署山岳救助隊、奥多摩消防署山岳救助隊、都レンジャー、都岳連の4団体による春の安全登山キャンペーンを実施しました。

これは昨年から都岳連が主催し実施しているもので、「奥多摩の山を楽しむための十カ条」のチラシを登山者一人ひとりに声をかけながら配布し、安全登山を呼びかけました。この様子は新聞にも紹介されました。

都岳連救助隊 加藤 秀夫



加盟山岳会紹介・会員番号 177 ～京葉山の会～

京葉山の会は1963年に創立し、オールラウンドな山岳会として岩(クライミング)・沢・雪山登山を中心に活動を続け、2023年に60周年を迎えました。

江東区亀戸で毎月第一水曜日に例会をおこなっていることから、メンバーも東京都や千葉西部在住者が多くなっています。現在会員数は40～50代を中心に、30～70代の20名です(令和5年3月現在)。毎月1回(8月を除く)、入会間もない方も参加できるような会山行を実施していますが、活動の中心は数多く実施されている個人山行です。会山行では沢登りや雪山登山をはじめ、安全を祈願し親睦を深めるザイル祭(11月)や、レスキュー訓練(10月)等も実施しています。個人山行は沢登りやクライミング以外にも、バックカントリースキーやアイスクライミング・ハイキング登山などその時々活発に活動しているメンバー次第で山行内容は変わっています。

近年はSNS等で気の合う山仲間を募ることもでき、それは決して悪いことではありませんが、「山」で繋がった立場や世代を越えたメンバー同士のコミュニケーション、貴重な体験談や今はあまり人の入らない「古のルート」の話先輩から後輩へ受け継ぐのは、山岳会という組織ならではの楽しみです。

近年新入会会員は減少傾向なうえ、年齢や家庭の事情による退会者も増えつつありますが、それぞれが「いまできること」を大切に今後も活動を継続していきます。

京葉山の会 長濱 智子



2023年白毛門～赤沢山。上越は会のホーム



2022年7月/尾白川鞍掛沢～乗越沢

編集後記

皆様、GWの山行は如何でしたでしょうか？ ニュース等では今年のGWはコロナ禍前の賑わいが戻ってきたと伝えられていましたが、山でも昨年と比べて登山道や、山小屋、テント場は賑わっていたのではないのでしょうか。山小屋はこれまでのような状態にはまだ遠いようですが、少しずつでも以前の賑わいが戻ってきたのではないのでしょうか。山小屋は今回の「とがくれん通信」では各委員会からの行事報告以外に、都岳連第十一回通常総会開催報告を掲載しております。総会では役員改選が行われ新役員に新たな就任理事も加わり、新しい体制がスタートしました。長いコロナ禍が明けて、これからはより活動的な都岳連を発信して行けそうです。

出版委員会 星野 恒行



公益社団法人 東京都山岳連盟

〒101-0048 東京都千代田区神田町2-10 パークサイドセブン2F

Tel/03-3526-2550 (月～金13:00～17:00) Fax/03-3526-2551(常時) https://www.togakuren.com E-mail:lej04543@nifty.com



2023年2号

公益社団法人 東京都山岳連盟

TMF とがくれん通信



お知らせ
登山講習会
安全登山を目的とした
基礎的な技術の習得を
行っています。
詳しくは
都岳連 HP でクリック!

写真: 山岳写真ASA 星野 恒行/赤城山

就任のご挨拶

会長に選任されました廣川 健太郎です。皆さま、宜しくお願いいたします。

1960年生まれ63歳、高校山岳部で登山を始め、高2秋に都岳連加盟東京北稜山岳会に入り、岩、沢、雪山を始めました。その後日本エキスパートクライマーズクラブに移り、1979年秋にカモシカ同人隊でダウラギリII峰に登頂、大学卒業前3月、剣岳から僧ヶ岳、北方稜線縦走が若いころの一番思い出に残る山でした。

都岳連にはソウル市山岳連盟との交流会・仁寿峰クライミング参加がきっかけで遭対委員会に参加、一時期お休みを頂き、50歳前になりました。49歳の3月スイスアルプスのマッターホルン北壁冬期登攀に成功しましたが、右足指先3本を凍傷で切断しています。その後は総務部長、理事としてコンプライアンス委員会やおくたま登山学校立ち上げなどの後、専務理事、副会長を務めさせて頂きました。

これまでの活動の充実に加え、新しい試みとして例えば長年の登山で痛むようになった足、腰の負担を和らげる歩き方やケアのセミナー、会員の皆さま向けの施設利用や講習会実施などを進めたいと考えています。



<これから立ち上げ、力を入れていきたい活動>

- (A) 子供の野外教育、登山学校、クライミングや沢、雪山体験
- (B) 障害者とそのご家族の野外・登山体験支援や交流
- (C) 防災、災害発生時の被災地支援、被災者に寄り添う活動など

新しい活動を進め、ノウハウを体系化・文書化、指導や運営法を固めて行きたいと考えています。さらに、(D) アジア各国の登山・クライミング団体と相互交流を図り、登山やクライミングのみならず、新しい活動・ノウハウも共有していくそんな活動を皆さまと力を合わせて進め、登山・クライミングの組織が将来にわたって持続可能な、新しいかたちを作っていきたいと考えています。宜しくご指導ご協力のほど、お願い申し上げます。

2023年6月 公益社団法人東京都山岳連盟 会長 廣川 健太郎

第11回都岳連通常総会開催報告

令和5年5月30日19時より国立オリンピック記念青少年総合センターに於いて第11回通常総会が開催されました。今回は3年ぶりに対面での形で開催されました。

第1号議案について廣川副会長・専務理事より事業報告、本郷財務部長より会計報告ならびに中野監事より監査報告が行われ、正会員数146名の過半数74名のところ、委任状を含む104名の賛成を得られ承認されました。続いて第2号議案の役員改選について選挙管理委員会より投票結果が発表され、正会員の過半数から賛成を得た候補者のうち定数内の順位上位10名の理事、2名の監事が当選となり承認されました。その後第3回理事会が開催され、新役員として廣川会長、原副会長、桜井専務理事が選出されました。また事務局内に総務部が新設されました。

事務局次長 藤田 智子

新役員メンバーは下記の通りです。

- 会長 廣川 健太郎(クラブアルパインテクノロジー) 重任
- 副会長 原 誠一郎(東京ハセツネクラブ) 重任
- 専務理事 桜井 進(登高会嵩) 重任
- 理事 本郷 利夫(個人会員) 重任
- 理事 藤田 智子(アルプス灯会) 重任
- 理事 猪狩 ノブ(U-TANクラブ) 就任

- 理事 賀来 素明(グループ・モンターニュ、JFA) 就任
- 理事 真島 類治(東京野歩路会) 就任
- 理事 柿崎 暢(TSCC、東久留米市山岳連盟) 就任
- 理事 松本 圭司(個人会員) 就任
- 監事 中嶋 正治(好山会) 就任
- 監事 経塚 雅子(東京野歩路会) 就任



杉山修の山と版画の世界

版画作品を掲載させていただいているので木版画の話をする。技法は江戸時代の末期、その頂点をきわめた。多くの版元が出版を競って庶民や下級武士の間で広まった。しかし明治に入って西洋の印刷技術に駆逐され壊滅状態になる。再び版画が興るまで大正を待たねばならない。そして創作版画の再興期がやってくる。

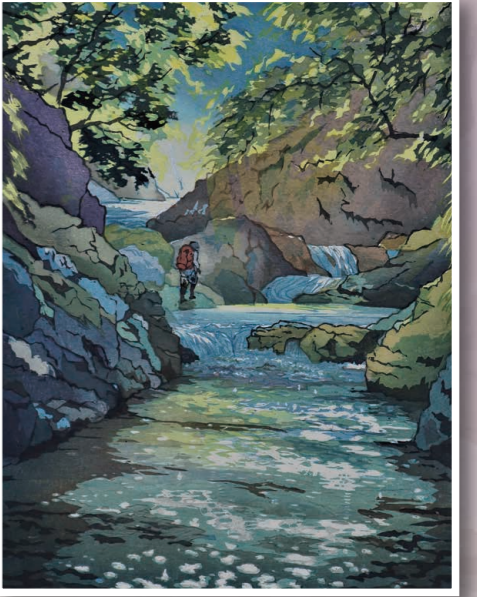
私はなぜ山を版画で表現するのかと問われる。実は逆なのだ。版画で山を表現している。版画ありきなのである。

木版画は日本独自の絵画表現である。「木」が主役、和紙、膠（にかわ）、顔料、全て水を介して成り立っている。竹皮の馬連は日本だけの道具だ。木版を彫る作業に虜にさせられている。

二十代、好山会に入って山だけを見て登っていた。仕事を捨ててインドヒマラヤにも行った。三十代、絵画に目覚める。そして、吉田博の版画摺師との出会いにより木版画という終わりのない深淵の世界へ脚を踏み入れてしまった。木と和紙の美しい世界に魅了され引きずり込まれてしまったのだ。

私の作品は全て自らの体験した世界を描いている。構図、下絵、下図、色分解、複数の版木による彫り、生漉奉書（きずきぼうしょ）による摺り、全て自分一人で仕上げる為一作品約一ヶ月かかっている。作品には粉の顔料と墨を使う。墨こそ作品の命である。

今でも一作ごとに気付きがあり、学びがあり、反省があり、それが次回作への宿題となる。いつも緊張感を抱きながら制作を続けている。



「夏の遊行」
9版44摺 越前和紙 顔料



プロフィール
杉山 修 (すぎやま おさむ)
1946年 東京、下町に生まれる。
登山活動の傍ら、四季を通して、写真・スケッチの取材を行い、山岳風景をテーマに、自撮り、自彫りの木版画を発表している。
好山会会員、日本山岳協会代表幹事、日本版画院同人、日本山岳化学会会員
ホームページ: osamuhanga.com

優待施設紹介

燕温泉の旅館 源泉の湯「花文」 妙高山の麓の秘湯、燕温泉にある伝統の宿

燕温泉は平安初期に弘法大師（空海）が発見したと伝えられる歴史ある温泉地で、昔から湯治場として利用されてきました。冬は豪雪で温泉を利用できないほどの秘境中の秘湯で、燕温泉という名前の由来は、中華料理で珍重される「燕の巣」を作る「岩燕」の多い土地であったことから名付けられたと言われています。そして、燕温泉の標高は1180m。妙高山周辺では最も高所にある温泉で、妙高山登山の東側の入り口にもなっています。周囲には妙高山や深谷の美しい景色が広がり、その上質な源泉により心も体も癒やされる温泉として多くの人々に愛されています。「花文」はその温泉街の入口に位置し、長い間お客様をお迎えしてきました。天然温泉を源泉掛け流しで楽しめる館内風呂や大田切深谷が眼前に広がる露天風呂、妙高在来のそば粉を使用した十割手打ち蕎麦などの美味しい料理が自慢です。宿泊はもちろん、日帰り温泉やランチの利用も可能ですので、さまざまなシーンでご利用いただけます。近隣には妙高山・火打山をはじめ、黒姫山、高妻山などの名峰があります。そしてイモリ池や苗名滝、野尻湖などの景勝地もあります。登山やハイキングはもちろん、ご家族でアクティビティを楽しまれた後に、「花文」のおもてなしで寛いでいただければ幸いです。



山の自然を愛し、登山道を整備することで環境保全に貢献するハセツネランナーたち



都民の森に集まったハセツネメンバー達



土壌が流出した階段部分（下岳山）

昨年10月から奥多摩の山に通い続けていたトレイルランナーたちが、山の環境保全のために挑戦した活動についてご紹介する。自然豊かな国立公園内でおこなわれるトレイルランニング大会への批判が一定数ある中、自然環境の保全を前提としつつ、大会参加者やハイカー等利用者のための登山道を適切に整備する必要があるが、その実施については公園の利用形態が多様であること、歩道などの維持管理費が大きくなることから管理者だけでなく受益者の負担についても考慮しておく必要があると言われている。そして、登山という利用形態は自己の責任において安全を確保することが基本であるものの、その実施における具体的な方法は長年の課題となっていた。そんな中、奥多摩では日本山岳耐久レースの参加費の一部を国立公園の歩道整備に充てる取り組みを始めた。この活動に共感した多くのトレイルランナー達が毎回集まり、これまでに三頭山、月夜見山、惣岳山、御前山、大岳山などで路面の補修や雨水で侵食された土壌を復活させ、段差のある登山道を子供や高齢者も安心して通過できるルートに改善することを行ってきた。都環境局やレンジャーも視察に訪れ、これからも継続的に行われることを期待していると語った。参加者は歩きやすくなり誰もが安全に山を楽しむことができる環境整備に一役買ったことで、秩父甲斐多摩国立公園・奥多摩エリア内の整備活動がトレイルランナーとしての責任を果たす第一歩であることを改めて感じたことだろう。

トレイルランニング委員会 岸 正夫



閉会式で気象委員会・鈴木氏の講話を聞く参加者



山頂下での閉会式

高尾山クリーンキャンペーン、6月4日（日）に実施

6月は環境月間。自然保護委員会では毎年、6月5日の世界環境デーに一番近い日曜日に高尾山の清掃活動『高尾山クリーンキャンペーン』を実施している。一般参加者と応援スタッフのJMCSA自然保護指導員、専門委員で構成する複数の班が全員ゴミ袋を携えて高尾山口駅前から清掃登山をしながら山頂を目指す。高尾山の登山道でも最近ほとんどゴミが見当たらなくなったが、行き交うハイカーなどから我々に「ご苦労様です」などと声をかけられることは多く、ゴミを拾うだけではなく『ゴミは捨てない』という自然環境保全の啓発、PRには一定の効果があり、実施の意義は今も変わらない。今年も総勢47名。一般参加者は5歳から70代までの幅広い年齢層の方々24名、JMCSA自然保護指導員は11名に参加いただいた。6号路3班、稲荷山コース1班で山頂に向かった。各コースでは山野草を観るのも楽しみの一つで、セッコクがちょうど見頃だった。山頂下での閉会式では、応援参加していただいた気象委員会の方から興味深い観天望気の講話を伺った。委員会が持参、利用を勧めている携帯トイレを紹介した後、皆さんに感謝状をお渡しして無事終了した。また、『身近な水環境の全国一斉調査』に沿って自然保護委員会では高尾の岩屋大師下や日影キャンプ場炊事場下で水質調査を行った。岩屋大師下では6号路班の参加者に担当者から水質調査の意義・目的などを説明した。

自然保護委員会 小林 敏博

TOBU 東武鉄道

finetrack

MCM Japan Ltd.

クライミングシューズ
リソール・修理

クライミング用品輸入販売

登山、クライミングの保険

有限会社
セブンエー

KEM
K.E.M. JAPAN LTD.

mont-bell

COCO HELI

Pokkem
細谷火工株式会社

Outdoor Village
アウトドアブランドの道具はここが
東京営業所 TEL: 03-3357-0781

汗かく人が偉い人。

Meiko
03-5394-1861
03-5394-1845
meiko@pr.email.ne.jp
〒170-0024 東京都豊島区北大塚 3-21-10-4F

国内唯一の山岳遭難対策制度™
JRO(ジロー)の会員制度
JRO 捜索・救助費用を550万円までカバー。

入会お問合せ先 (平日10時~18時)
ジローエソセンター TEL: 03-6273-1521

日本山岳救助機構合同会社

スポーツランド WINNER 10000 BIG

全国優待施設案内

- ◎宿泊施設
- ◎奥多摩/三条の湯、駒鳥山荘
- ◎奥秩父/雲取山荘
- ◎富士山/三ツ峠山荘、トモ工館
- ◎谷川岳/関東/千秋庵、谷川岳肩ノ小屋、永楽荘、谷川温泉(株)旅館 たにがわ、孀恋の宿 あいさい、土合山の家、下仁田 荒船の湯、武州自慢館 藍染カフェ(深谷)
- ◎日光/日光澤温泉、スパ・ビレッジカマヤ、日光湯元温泉(株)奥日光小西ホテル
- ◎浅間/天狗温泉 浅間山荘
- ◎尾瀬/山ノ鼻小屋、尾瀬小屋、燧小屋
- ◎新潟/笹原館、燕温泉(有)ホテル花文、赤倉温泉大野天風呂「滝の湯」
- ◎丹沢/蛭ヶ岳山荘、みやま山荘
- ◎八ヶ岳/蓼科山頂ヒュッテ、赤岳展望荘、ヒュッテ夏沢、美濃戸山荘、八ヶ岳山荘、硫黄岳山荘、根石岳山荘、夏沢鉱泉、八ヶ岳オーレン小屋
- ◎北アルプス/明神館、太郎平小屋、薬師沢小屋、高天原山荘、スゴ乗越、みくりが池温泉、雷鳥沢ヒュッテ、ロジック立山連峰、大和リゾート(株) Royal Hotel 長野、中房温泉、新穂高温泉 ひがくの湯と登山者食堂
- ◎中央アルプス/ゲストハウスみんなのいえ
- ◎南アルプス/北岳肩ノ小屋、ペンションさんどりよん、山彦荘、赤石温泉
- ◎東北・北海道/八幡平高原ホテル、ハイランドホテル山荘、アルプ天元台、八甲田山荘、茅葺屋根の民宿「離騒館」、森吉山荘、竜山荘、旅館大黒屋、酸ヶ湯温泉、ペンションあるべじお、八幡平リゾート(株)八幡平マウンテンホテル、(株)宿かり屋ドッドコム 焼走り国際交流村、(有)元湯甲子温泉、十勝岳温泉株式会社 凌雲閣
- ◎関西・中国/ホテル大山 しろかね、ペンションいぶき、皆生温泉(株)三井別館
- ◎四国/剣山頂上ヒュッテ
- ◎九州/大和リゾート(株) Active Resorts霧島、アクティブリゾート 福岡八幡
- ◎登山用具販売店
- ◎神田/さかいやす
- ◎ボーツ
- ◎クライミングジム
- ◎西東京市/クライミングジム GIRI.GIRI